［対象］
小・中学校の教員
全教科等

子どもたちの資質・能力を育む
未来へつなぐ教育計画

2024年度 ソニー子ども科学教育プログラム 小・中学校の教員向け

受付期間

2024年8月1日(木)～2024年9月2日(月)
15時送信完了分まで

助成

入選者 **10万円**

全応募者に審査講評とソニー製品等を贈呈

「課題にもとづいた教育方針と実行計画」を論文にまとめて応募してみませんか

未来を担う子どもたちに必要な資質や能力を考え、日頃から指導の改善や創意工夫を行っている先生方のこれからの教育方針と実行計画をテンプレートに沿ってまとめた論文を募集しています。
応募いただいた全ての教員に助成などの支援をしています。

論文テーマ	「未来を担う子どもたちに必要な資質・能力を育む」
対象	国・公立・私立の小学校、中学校、特別支援学校等の教員
内容	課題にもとづいた教育方針と実行計画
募集期間	2024年8月1日(木)～2024年9月2日(月)15時 送信完了分まで
応募方法	ソニー教育財団ウェブサイトの専用応募フォームから送信
賞	[入選者]10万円とソニー製品等
発表	2025年1月中旬以降 当財団ウェブサイトにて発表予定
審査委員会	[審査委員長] 杉野 剛　独立行政法人日本学術振興会　理事長 [審査委員] 50音順 清原 洋一　学校法人秀明学園 秀明大学 学校教師学部　教授 熊平 美香　一般財団法人クマヒラセキュリティ財団　代表理事 西谷 清　公益財団法人 ソニー教育財団　元理事長 山下 修一　国立大学法人千葉大学 教育学部 理科教育　教授

公益財団法人
ソニー教育財団

募集内容

テーマ　「未来を担う子どもたちに必要な資質・能力を育む」

内容　課題にもとづいた教育方針と実行計画（全教科等 ※教育課程内の活動）

課題　これからの時代を生きていくためには夢と好奇心と高い志を持ち、未知のものを探究し、新しいものを創造していこうとするなどの資質や能力が求められます。こうした資質を伸ばし、能力を育成するための教育方針と実行計画について提案してください。

助成内容

＼審査講評とソニー製品等を全応募校へ贈呈／

入選者

- 研究助成金10万円 使用用途の指定はありません。
- ソニー製品等

全応募者

- ソニー製品等

審査

審査委員会

審査委員長	杉野 剛	独立行政法人日本学術振興会　理事長
審査委員 50音順	清原 洋一	学校法人秀明学園 秀明大学 学校教師学部　教授
	熊平 美香	一般財団法人クマヒラセキュリティ財団　代表理事
	西谷 清	公益財団法人 ソニー教育財団　元理事長
	山下 修一	国立大学法人千葉大学 教育学部 理科教育　教授

審査の観点

❶ 育てるべき資質や能力

明確性、必然性、こだわり（信念、想い）など

未来を担う子どもたちに必要と考える資質や能力についてその必要性を踏まえて自分なりの設定がされている。

❷ 子どもたちの現状

客観的分析、裏付けとなる情報とその信憑性など

子どもたちの状況、学習レベルなどを客観的に把握し、確かな情報を基に子どもたちの現状が述べられている。

❸ 教育支援の方針

妥当性、必然性、将来性、着眼点など

現在の状況を踏まえ、過去の実践経験や知見（失敗）なども加えて、教育支援の方針が述べられている。

❹ 実行計画と準備状況

実現性、継続性、具体性、新規性、汎用性など

③で述べた方向性をもとに、具体的な実行や行動に落とし込み、来年度以降の実行計画と準備状況が述べられている。「いつ、何を、どのように行うのか」

ご応募いただく論文および関連情報について、以下の点をあらかじめご理解・ご了承の上、ご応募ください。

論文、応募者名、学校名、所在地、研究内容などの関連情報は、当財団が、成果の還元、普及や、広報活動のために使用、公開させていただきます。論文を本プログラム以外で使用、公開、出版、掲載等することを希望される場合には、事前に当財団にご連絡の上、許可を得ていただきます。応募情報（論文含む）は、当財団が、本プログラムに関する審査結果の通知、各種行事の案内、その他の連絡・確認のために使用させていただきます。ご応募いただく論文は、関連するすべての権利（本文および使用された写真等にかかる著作権、ならびに上記の当財団による使用等を許諾する権利を含むがこれに限らない）を、応募者が保有しているものに限ります。

募集要領

受付期間　2024年8月1日(木)～2024年9月2日(月)　15時 送信完了分まで

募集対象　国・公・私立の小学校、中学校、特別支援学校等の教員

- 1校から複数名ご応募いただいても構いません。ただし、類似する内容は不可とします。
- ソニー子ども科学教育プログラム「教育実践論文」へ応募した研究代表者は、同年度の「未来へつなぐ教育計画」へは応募できません。

応募方法　当財団ウェブサイトのトップページより論文応募サイトへユーザー登録のうえログインし、応募フォームより論文(PDF)をお送りください。

作成規定

当財団ウェブサイトにあるテンプレートをダウンロードし、下記①～④の項目をまとめてください。

A4　A4判 10ページ以内

❶ 育てるべき資質や能力　1ページ程度
＋
❷ 子どもたちの現状　1～2ページ程度
＋
❸ 教育支援の方針　2～3ページ程度
＋
❹ 実行計画と準備状況　3～4ページ程度

【ページ数】　合計10ページ以内
【文字サイズ】　[本文] 10.5ポイント以上
　　　　　　　[図表] 8ポイント以上
【図表】　本文を補完するものに限る
【参考・引用文献】本文中に明記

作成にあたって

- すでに他で発表している論文と概ね同じ記述の論文は、審査対象外とします。
- 本文中の図表などで読み取れないもの(サイズが小さい、画像が不鮮明等)は、審査対象外とします。

入選発表　2025年1月中旬以降 ソニー教育財団ウェブサイトにて発表予定。

成果発表　入選者には、受賞の翌年度に以下の成果発表を行っていただきます。

- 論文の全文公開(写真を含む)
- 提案した計画(もしくはその一部)を実行し、2025年度「子ども科学教育研究全国大会」のポスターセッションにて成果(経過)発表

応募方法

＼締切は2024年9月2日(月)15時送信完了分まで／

応募の流れ

1 論文応募サイトにユーザー登録(基本情報を登録)
2 応募フォームに情報を入力
3 論文(PDF)を送信(送信後の変更不可)

応募フォームは2024年8月1日公開予定

論文をPDFファイルにして、応募フォームよりお送りください。
応募完了後、送信した情報の変更はできません(論文の差し替え含む)。
内容に不備がある場合は受理できません。また、論文は返却しません。

まずはユーザー登録！

論文を応募するにはユーザー登録が必要です

論文の送信完了はメールでお知らせします

事務局との連絡は論文応募サイトのれんらく帳で！

応募フォームは一時保存が可能！

応募フォームは入力項目が多数あります
時間に余裕をもってご応募ください

趣旨

現在日本は、経済のグローバル化や人工知能の進化、そして少子高齢化など、様々な急速な社会的変化に直面しています。さらに、より高度な情報・知識に基づく多様で高い付加価値の提供が求められる社会状況の中で、子どもたちが生き抜き、人生を切り拓いていくために求められる資質や能力を育むことはとても重要です。
教育課程においてその資質や能力を育むことに積極的に取り組んでいる先生を応援します。

2023年度入選者

澤田 康介／
北海道教育大学附属
釧路義務教育学校

戸嶋 一智／
階上町立階上中学校

河本 康介／
三条市立一ノ木戸小学校

相良 英優／
川辺町立川辺中学校

福井 大志／
堺市立久世小学校

柿原 智明／
熊本大学教育学部附属小学校

田中 将／
南部町立南部小学校

尾澤 知典／
横浜市立義務教育学校
緑園学園

阿部 裕一／
長野市立信州新町中学校

都築 卓朗／
刈谷市立朝日中学校

山田 佳明／
長崎大学教育学部附属中学校

額田 侑実子／
ミラノ日本人学校

（敬称略）

ソニー教育財団について ― 学校・園の先生を応援しています ―

ソニー創業者　井深大は、次世代を担う子どもたちの科学教育の充実のため、1959年に学校への助成活動を開始しました。その後、井深の関心は乳幼児期の教育と人の心を育てることの大切さへと拡がりました。井深の志を受け継ぐ事業を継続的に発展させるため「ソニー教育財団」となり、60年以上続く論文事業の他、優れた教育・保育実践の公開や発信、未来志向の教員・保育者向け研修会、子どもに科学の原理を伝える「ものづくり教室」など、教育現場と未来を生きる子どもたちを支援するさまざまな活動を行っています。

ソニー教育助成[論文]

幼稚園・保育所・認定こども園、小・中学校、および小・中学校の教員から論文を募集し、教育助成金とソニー製品等を贈呈しています。論文には【保育実践論文】、【教育実践論文】、【未来へつなぐ教育計画】の3種類あります。入選論文の優れた実践を、研究発表や公開授業・保育の開催、ウェブサイトや冊子での事例紹介を通じ、広くみなさまに発信しています。

先生方への支援

「教育実践論文」で最優秀を受賞した学校を会場に「子ども科学教育研究全国大会」を開催しています。優れた取り組みを研究発表や授業公開、研究協議会などを通して共有し、地域や校種を超えて教員同士が交流し、意見交換できる場となっています。また、中堅の先生方を対象とした「ミライティーチャーズアカデミー」では、「未来を支える子どもたちのために、教育改革に取り組むリーダーを育成する」ことを目的に、多彩な講師陣と社会人サポーターと共に1年間に渡りチーム活動を展開しています。

公益財団法人 ソニー教育財団
Sony Education Foundation

〒140-0001
東京都品川区北品川4-2-1 御殿山アネックス2号館4F
Tel: 03-3442-1005

https://www.sony-ef.or.jp/

2024.1